

鶴岡音楽祭2012

～祈りと癒しのひととき～



2012年2月19日(日) 開場:午後1時
開演:午後1時30分

鶴岡市文化会館

●入場料 大人 2,000円 高校生以下 1,000円

第1部

祈りをこめて～ チェロ・上村文乃
チェロ協奏曲 口短調 作品104(ドヴォルザーク)

第2部

歌声に心ゆだねて～
ソプラノ・半田美和子
アヴェ・マリア(カッチーニ)
歌劇「清教徒」より“あなたの優しい声が”(ベッリーニ)
歌劇「セビリアの理髪師」より“今の歌声は”(ロッシーニ)
ほか

第3部 全員合唱



©IKEGAMI

ソプラノ 半田美和子(二期会) チェロ 上村文乃

特別ゲスト 中田幸子(中田喜直夫人)

指揮 工藤俊幸/山形交響楽団

地元出演 齋小学校ミュージックベル隊

鶴岡南高等学校音楽部 鶴岡土曜会混声合唱団

鶴岡市合唱連盟 ほか



鶴岡音楽祭2011の全員合唱

- 主催 「雪の降るまちを」鶴岡冬まつり実行委員会
- 後援 NHK山形放送局/山形テレビ/山形テレビユー山形/山形県さくらんぼテレビジョン/山形新聞・山形放送/山形県エフエム山形/山形県日報社/ANA/JR東日本新潟支社/庄内交通株/財団法人致道博物館/やまがた観光キャンペーン推進協議会/山形県観光物産協会/山形県合唱連盟/田川地区ママさんコーラス連絡協議会/田川地区吹奏楽鼓笛連盟/鶴岡市観光連盟

鶴岡音楽祭2012



ソプラノ ● 半田美和子 *Miwako Handa*

東京都出身。桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。二期会オペラスタジオ修了時に最優秀賞及び川崎静子賞。第4回藤沢オペラコンクールにおいて第一位、及び福永賞受賞。オペラでは、二期会公演「フィガロの結婚」スザンナ役でデビュー。新国立劇場「花言葉」主役ドンナ・ロシータ役、新国立劇場「ファルスタッフ」ナンネッタ役などで好評を博す。又、サントリーホール音楽財団創立40周年記念サマーフェスティバル2009にて、細川俊夫作曲「班女」花子役を日本初演。その後イタリアMITOフェスティバルに招聘され、トリノ、ミラノで同役を歌い賞賛を得る。コンサートでは、G・ベルティーニ指揮・都響「真夏の夜の夢」に抜擢される。以降マーラー「千人の交響曲」（ベルティーニ指揮・都響）、モーツァルト「口短調ミサ」（フロムシュテット指揮・N響）、モーツァルト「レクイエム」（ホーネック指揮・読響）、ベルク「ルル組曲」（カリニャーニ指揮・読響）、メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」（メルクル・N響）など、国内外著名指揮者と共演。また、東京都交響楽団定期演奏会エリアフ・インバルプリンシパル・コンダクター就任披露公演「千人の交響曲」に出演し、2009年同団定期演奏会インバル指揮ラヴェル「シェエラザード」、マーラー「交響曲第4番」にて再共演の機会を得る。この他、映画「のだめカンタービレ」の音楽制作に参加するなど多彩な活動を展開している。二期会会員。

半田美和子オフィシャルサイト <http://miwako-handa.jp/index.html>



チェロ ● 上村文乃 *Ayano Kamimura*

3歳よりピアノを佐藤美千代氏、6歳よりチェロを熊澤雅樹・井上雅代両氏に師事。第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会中学生部門最高位。第5回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。第4回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門第1位およびルーマニア大使館賞受賞。第80回日本音楽コンクールチェロ部門第2位。第65回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部第1位。TV朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「クラシックサロン」出演。いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞受賞し、翌年アスペン音楽祭（米コロラド州）に奨学生として参加。第13,14,15回宮崎国際音楽祭マスタークラスにて優秀賞受賞。第30回霧島国際音楽祭に奨学生として参加し、霧島国際音楽賞受賞。サントリーホール室内楽アカデミー第1期生。これまでに飯守泰次郎氏指揮、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、小林研一郎氏指揮、東京フィルハーモニー交響楽団、工藤俊幸氏指揮、群馬交響楽団等と共演。また、プロジェクトQ、軽井沢八月祭、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、鎌倉芸術館ゾリス等に出演。現在、ピアノを佐藤勝重氏に、チェロを毛利伯郎・堤剛両氏に、室内楽を原田幸一郎、徳永二男、クアルテット・エクセルシオの各氏に師事。桐朋学園大学ソリストディプロマコース3年在学中。



指揮 ● 工藤俊幸 *Toshiyuki Kudo*

1966年酒田市に生まれる。国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究科指揮専攻修了。指揮を崎田俊治、黒岩英臣、飯守泰次郎各氏に、作曲を故増田宏三、島岡譲両氏に師事。1992年オーディションで選ばれ仙台フィル副指揮者に就任。外山雄三音楽監督のもと、1996年までその任を務める。その後一年間ベルリン・ドイツ・オペラで研修。帰国後は全国各地のプロオーケストラを指揮する傍ら、合唱指揮者としてもNHK交響楽団定期演奏会（H.シユタイン指揮）や読売日本交響楽団定期演奏会（G.アルブレヒト指揮）で二期会合唱団の合唱指揮を務め高い評価を得た。2001年4月より現在まで山形交響楽団指揮者を務める。また2003年4月から2010年7月までは群馬交響楽団指揮者も務めた。現代音楽の分野でも定評があり、池辺晋一郎氏や林光氏のオペラ作品を初演。また佐藤總明作品を指揮したCD「仄かなる闇」がカメラータより発売されている。国立音楽大学講師。



● 山形交響楽団

飯森範親を音楽監督に迎え、現在定期演奏会の年間15回・20公演と特別演奏会の3回を中心に年間約150回の演奏会を行っている。1972年、山形県出身の指揮者村川千秋によって東北地方では初めてのプロ・オーケストラとして誕生、同年8月運営母体として山形交響楽協会を設立し、9月には第1回定期演奏会を開催した。1974年山形交響楽協会が公益社団法人として認可され、演奏活動範囲は、東北六県・新潟県まで拡大した。

その後山形県芸術文化会議賞、齋藤茂吉文化賞、第28回昭和53年度河北文化賞を受賞。2001年6月には30年間に及ぶ学校対象の演奏会等の音楽教育普及活動が評価されサントリー地域文化賞を、さらに2007年11月には平成19年度地域文化功労者文部科学大臣表彰を受け、名実共に東北地方

のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立した。1987年サントリーホールにおいて初の東京公演を成功させ、その後サントリーホール、浜離宮朝日ホール、すみだトリフォニーホールにて開催し、さらに毎年6月に東京オペラシティでの「さくらんぼコンサート」開催など、これまでに数多くの東京公演を成功させている。また、1991年7月アメリカ・コロラド州で開催された「コロラド・ミュージック・フェスティバル」に参加、初の海外公演を行った。2006年、オーケストラとしては日本初となる自主レーベル「YSO live」を立ち上げ、各方面から高い評価を得ている。

現在、音楽監督に飯森範親、創立名誉指揮者に村川千秋、名誉指揮者に黒岩英臣、指揮者に工藤俊幸、大井剛史、コンポーザー・イン・レジデンスに西村朗を擁し、定期演奏会・依頼演奏会・スクールコンサートやテレビ・ラジオ出演。アカデミー賞映画「おくりびと」に出演などの多彩な演奏活動を展開している。



中田喜直

〔1923年～2000年〕

鶴岡の冬の思い出をモチーフに作曲された「雪の降るまちを」は、今も世界中の人々に愛され歌い継がれています。「夏の思い出」「ちいさい秋みつけた」「めだかの学校」などなじみ深い曲をはじめ、日本人の心に響く独特の叙情性と美しい旋律で多くの歌曲、合唱曲、ピアノ曲などを生み出し、日本の音楽界に偉大な功績を残しました。